

2022年3月期 第3四半期 決算説明会 質疑応答の要約

開催日時： 2022年1月27日 16:00~17:00

開催場所： SBテクノロジー株式会社 本社 (Teams開催)

回答者： 代表取締役社長 CEO 阿多 親市・・・(2)、(3)

取締役 常務執行役員 CFO 岡崎 正明・・・(1)

<質問者1>

(1) 上方修正の要因が原価低減による収益改善とのことだが、具体的な取り組みを教えてください。

プロジェクトのコストマネジメントを徹底し、削減項目を洗い出すことでコスト見直しを図ってきた。細かいプロジェクトの積み上げもあるが、公共分野の大型案件で大きな改善があった。

(2) これまで営業利益率が7%~7.5%前後で推移しているが、どこに課題があったと考えているか。

1次中計、2次中計の期間においては、薄利な物販ビジネスの構成比率が高かった期間やクラウドやセキュリティといった先端技術にチャレンジしていく中で収益性を損ねる案件が出ていた時期があった。これらに対して、物販ビジネスをやめ、プロジェクトマネジメントの強化を進めてきた。3次中計においては、ライセンス販売のボリュームが一定あること、売上高の成長と開発パートナーの拡大のためにベンダーマネジメント案件を推進したこと、将来の成長に必要と判断して低採算なチャレンジ案件も一定数獲得する方針で事業を推進したことが、収益性が上がらなかった要因だと考えている。

(3) 営業利益率が競合他社と比較して低いが、この差はどのような点から生まれているのか。

2つあると考えている。1つはサービスやパッケージ型で利益率の高い商材の構成比が低い点、もう1つは将来の成長に必要と判断して低採算なチャレンジ案件も一定数獲得する方針で事業を推進してきたことだと考えている。今後も新たなチャレンジをしながら、サービス事業を確立することで収益性を上げていきたい。

以上